

洞爺湖芸術館秋特別展

砂澤ビツキ展



無題（制作年不明／個人蔵）

未完

創造と想像の空間

2022

10 / 1 土 11 / 30 水



開館時間／9:30～17:00（入館は16:30まで）
入館料／一般300円・高校生200円・小中学生100円 町民無料 他割引あり
休館日／毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）
主催／洞爺湖芸術館 協力／洞爺湖芸術館友の会
後援／北海道新聞社伊達支局、室蘭民報社、伊達信用金庫、公益財団法人道銀文化財団

この事業はサマージャンボ宝くじの収益金を活用して実施しています。

《限定入館日があります》
10月2日（日）、23日（日）はコンサート開催の為、事前予約の方のみの入館となります。ご了承ください。

洞爺湖芸術館

TOYAKO MUSEUM OF ART

〒049-5802 北海道虻田郡洞爺湖町洞爺町96番地3
TEL: 0142-87-2525 WEB: <http://www.geijutukan.net/>



彫刻家・砂澤ビッキ（1931～1989）が残した数多くの作品。没後30年以上過ぎた今もなお、多くの人を魅了します。本展覧会では「未完」をテーマに砂澤ビッキの彫刻およびスケッチをご紹介します。大まかな切断面や荒々しい鑿の跡が残る木彫群、パーツとして残された工芸品やスケッチなどは対峙する鑑賞者を刺激し、時に完成された作品よりも心惹かれることさえあります。今回は、初公開作品を含む約30作品をご覧いただきます。彼の残した数々の未完の作品から、完成された姿を想像する時間をどうぞお楽しみください。

砂澤ビッキ

北海道旭川市出身。初期には阿寒湖畔と鎌倉、その後札幌を制作の拠点としたが、1978年からは音威子府箴島（おさしま）の小学校後にアトリエを構え、亡くなるまでの14年、精力的に木彫作品の制作を行った。

【略年譜】

- 1931年 旭川市に生まれる。本名は恒雄（ひさお）、ビッキは幼少時からの愛称。
- 1952年 上京。独学で絵画、彫刻を学ぶ。
- 1955年 モダンアート協会展（東京）入選。
- 1959年 北海道に戻る。以降東京を中心に個展を開催。
- 1983年 カナダに留学。
- 1989年 神奈川県立県民ホール「現代作家シリーズ'89 上野憲男・砂澤ビッキ・吹田文明展」
 - 1月22日 オープニングに病をおして出席。
 - 1月25日 札幌にて没（享年57歳）。

特別展関連事業

「スカルプチャーペインティングをやってみよう」

ビッキの絵画作品の制作過程を追体験するワークショップを開催します。

開催日：10月29日（土） 監修：砂澤 涼子 氏

定員：7名

時間：13:00～

対象：子ども～大人

参加費：500円

お申込み：電話 0142-87-2525



イメージ



1



2



3



7~9



4



5



6

- 1 無題 制作年不明 個人蔵
- 2 無題 制作年不明 個人蔵
- 3 無題 制作年不明 個人蔵
- 4 スケッチ（1988年） 個人蔵
- 5 スケッチ（1985年） 個人蔵
- 6 スケッチ 制作年不明 個人蔵
- 7 無題（1984年） 個人蔵
- 8 無題（1984年） 個人蔵
- 9 無題 制作年不明 個人蔵

《限定入館日があります》

10月2日（日）、23日（日）はコンサート開催の為、事前予約の方のみの入館となります。ご了承ください。

洞爺湖芸術館
TOYAKO MUSEUM OF ART

〒049-5802 北海道虻田郡洞爺湖町洞爺町96番地3
TEL: 0142-87-2525 WEB: <http://www.geijutukan.net/>



新型コロナウイルス感染症予防対策のご協力をお願いします
マスクの着用／手指の消毒、手洗い／一定の間隔をあげた鑑賞

